

1. 5車線の道路整備 ①

概念

- ・比較的交通量の少ない地域において、2車線整備にこだわらず、地域の実情に合った道路の整備を地域住民の理解を得て進めるもので、2車線改良、1車線改良、突角・線形の是正及び待避所の設置などを効果的に組み合わせて実施。
- ・大幅な**コスト縮減**と整備効果の**早期発現**に繋げる。

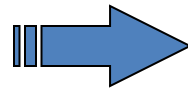


1. 5車線の道路整備 ②

取り組みの背景

- 急峻な地形、脆弱な地質や気象条件の厳しい本県では道路整備費のコストが高くなる。このことが、道路整備の遅れの原因となっている。
- 中山間地域など比較的交通量の少ない道路では、地域の利用者が納得できる、地域の実情にあった規格(ローカル・ルール)で整備すれば、地域が望む道路サービスの提供を早期に実現できるのではないか。

- 地域の実情に合わせた道路整備
- 身の丈にあった道路整備



1.5車線の道路整備を提案

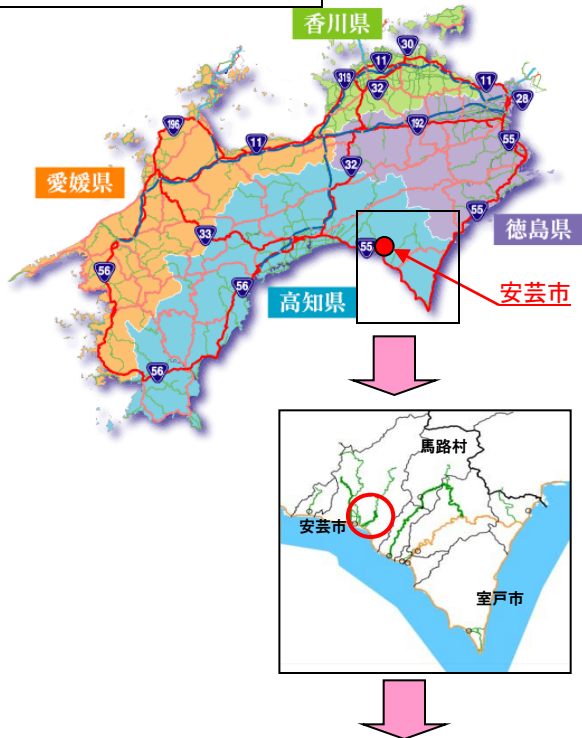
平成9年度から県単独事業、平成15年度からは交付金事業に採択され、2,300億円で85路線(660km)の整備を目標に事業を促進。

「1.5車線の道路整備」により、大幅なコストダウンと地域の求めるサービスレベルの早期達成が可能となる。→ex.事業費が1/8、工期1/3

1. 5車線の道路整備 ④

整備効果事例【県道奈比賀川北線】

事業位置、整備概要



路線の特徴

高知県東部の中核都市・安芸市の中心部と中山間集落を結ぶ幹線であり、地場産品の輸送や通勤通学はもとより、消防や防災・救急医療活動にも欠かせない地域の生活道路です。

整備の目的

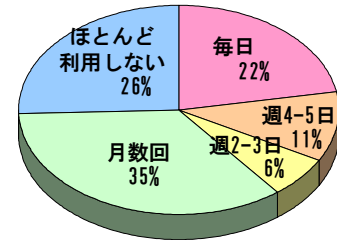
幹線道路である国道55号、中核都市である安芸市中心部までのアクセスを改善することにより、住民の生活、地場産品の運搬を支援する道路整備を行いました。

利用状況(住民アンケート結果)

問

道路をどのくらい利用されていますか？

住民の**33%**の方がほぼ毎日利用



整備箇所

長山工区	整備延長	L=300m
加増家工区	整備延長	L=500m

◇整備写真(加増家工区)



整備前



整備後

【1.5車線の改良の推進】

突角及び線形の是正により、車同士のすれ違い、見通しの改善を図り、地域住民の生活道として、安心、安全に通行できる道路となりました。

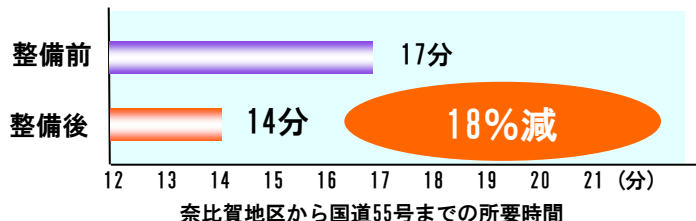
出典：高知県土木部道路課資料

1. 5車線の道路整備 ⑤

■整備効果事例【県道奈比賀川北線】

整備効果①

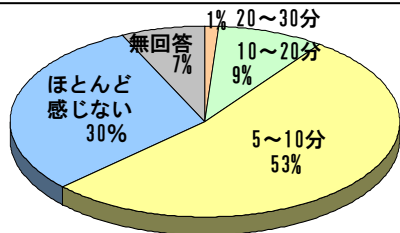
奈比賀地区から国道55号までの通行時間短縮



安芸市中心部、国道55号へのアクセスが大幅に改善されました。

問

道路が整備されたことによって通行時間は一日合わせてどれくらい短くなりましたか？



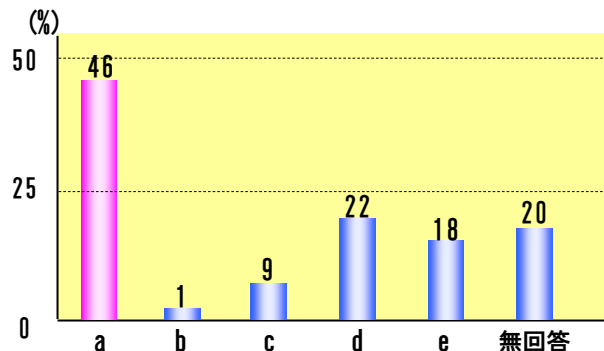
地域住民の**63%**の方が通過時間の短縮を実感
(平均実感短縮時間 6.0分/日)

整備効果②

1次産業による地域の活性化に貢献

問

道路が整備されたことによってお住まいの地域はどのように変わりましたか？



- (a) 地場産品の輸送時間が早くなった
- (b) 地場産品を活かした商品開発が増えた
- (c) 地場産品の販売地域が広くなり出荷量が増えた
- (d) 地域産業を活かした交流が増えた
- (e) その他

その他回答事例

- ・交通事故などの不安が解消されました。
- ・時間短縮の効果は少ないと思うが、対向車とのすれ違いがスムーズになり、運転手のストレスが減少しました。

地域住民の約半数の方が、地場産品の輸送時間の短縮を実感！！